

委員会審査結果報告

令和6年3月定例会中に開催された、各常任委員会の審査・活動報告です。

嘉麻市の常任委員会とは、下記3委員会のことです。

- 総務財政委員会
- 民生文教委員会
- 産業建設委員会



委員
岩永 利勝



委員
佐伯 憲子



委員長
廣方 悟



委員
中嶋 廣東



委員
田中 義幸



副委員長
豊田 一元

総務財政委員会

歯止めなるか、団員減少

消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

消防団の団員確保を図るため、団員の入団資格要件を緩和する。これに伴い、条例に所要の改正を行うため、提案されたものです。

執行部より、条例第3条第1項において、消防団員の資格の居住する範囲を市内から飯塚市、桂川町に広げる。

また、その他の地域において、団長が消防団活動ができることと認められた場合も資格対象とするものである等の説明がありました。

【主な質疑応答】

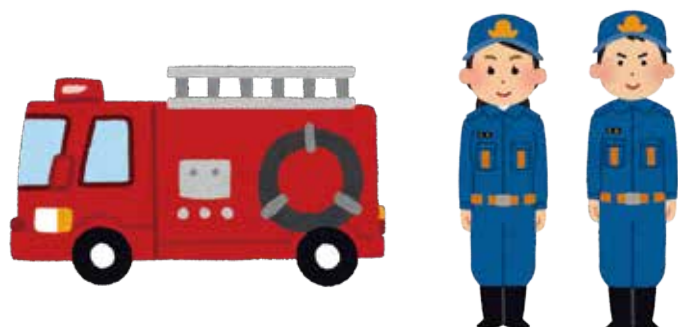
質 この条例改正について、飯塚市や桂川町とどのような協議が行われ、どのような合意があったのか。

答 本来飯塚市、桂川町の在住者でも消防団に入ることはできる。

しかし、嘉麻市の消防団員が飯塚市に移住しても、その消防団に入るかというとなか

なが入らない。結果として、飯塚市、桂川町、嘉麻市で消防団員が1名欠員になる。であるから、飯塚市、桂川町、嘉麻市で団員を減らさないための取り組みである。また、両自治体からも了承を得られている。

※ 審査の結果、全会一致で可決しました。
※ 本会議では、全会一致で可決されました。



民生文教委員会

解体。やむなしか

稲築社会福祉センター及び稲築老人憩の家を廃止する条例

稲築社会福祉センター及び稲築老人憩の家について、老朽化に伴い、公の施設としての用途を廃止するため、提案されたものです。

執行部より、稲築社会福祉センターは、昭和50年の建設から本年度48年が経過している。稲築老人憩の家は、昭和55年の建設から本年度43年が経過している。両施設とも老朽化が著しく、改修には膨大な費用を要し、維持管理が困難な状況である。

両施設は嘉麻市個別施設見直し計画において用途廃止・解体の方針となっている。また、嘉麻市には類似した施設が5施設あることから、本施設の廃止条例を提案するものであるとの説明がありました。

なお、施設廃止は令和7年4月1日とし、令和6年度中に施設廃止に関する周知を実施予定。

また、廃止に伴う施設の解体等については、合併特例事業債等の有利な財源を活用すると説明がありました。

要望 施設廃止後に、施設に行ったが施設が開いていないような事態が発生しないよう、ホームページ等の修正をし、周知をしてもらいたい。

※ 審査の結果、全会一致で可決しました。

※ 本会議では、全会一致で可決されました。



▲稲築老人憩の家



委員 中嶋 時夫



委員 出水 貴之



委員 山本 真之



副委員長 新井 聖次



委員長 藤 伸一

産業建設委員会

推進と延期、議論伯仲

特別会計条例の一部を改正する条例

本市特別会計条例第1条に工業団地整備事業特別会計を第5号として加えるため、特別会計条例の一部を改正するため提案されたものです。

執行部より、嘉麻市工業団地整備事業について、昨年末に執行部で事業化を決定した。令和6年度にその実行予算を上程することにし、起債等の財源調整を行うため、県と協議をした。その結果、特別会計の設置が必須となり、本議案の提案を行うものである。

本特別会計において令和6年度に計上する歳出予算は、用地購入費と測量等の設計委託料であるとの説明がありました。

【主な質疑応答】

質 工業団地整備計画は賛成。しかし、工業団地完成後、本市に企業が来なかった場合を想定したうえで、財政課と打

合せを行っているか。

答 歳入を生む施設の整備が必要であること、財政課とも協議の上、工業団地整備検討会議の中において機関決定をした。市長が事業化の最終決定を行った。

討論 令和4年度の嘉麻市の財政状況は危機的な状況である。このままの財政運営を続けると赤字再生団体になることが考えられ、市民生活に多大な影響を与えることになる。嘉麻市の経常収支比率を改善した上で、優先順位を付けて提案すべきであり、本議案に反対である。

※ 審査の結果、全会一致で否決しました。

※ 本会議では、賛成少数で否決となりました。

